

様式 **

当院で全腹腔鏡下子宮全摘術を受けられた患者さんまたはご家族の方へ（包括同意による臨床研究に関する説明）

大和市立病院 産婦人科では、上記の治療を施行された患者様の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については安全に管理します。本研究へ協力を望まれない患者さん及びご家族は、1階総合案内、又は、各病棟ナースステーションに用意されている「試料等の研究目的利用に関する不同意書」の備考欄に研究名を記載し、1階総合案内に提出をお願いします。調査の対象となることに同意をされない場合でも不利益はありません。

研究課題名（承認番号）	全腹腔鏡下子宮全摘術における術前抗菌薬、術前腔洗浄が及ぼす術後腔断端感染発症頻度の変化
当院の研究責任者（所属・職位）	産婦人科 横澤智美
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
研究の概要・背景・目的	術前抗菌薬の変更、術前腔洗浄の開始により術後腔断端感染の発症頻度の変化を比較検討すること
調査期間	2010年4月1日～2020年12月31日
対象となる方	上記期間内に当院に入院され良性疾患に対して全腹腔鏡下子宮全摘術を実施された方
使用する診療情報	2010年4月1日から2021年1月31日までのカルテ情報：診断名、年齢、性別、併存疾患、既往歴、生活歴、身体所見、血液検査、内服内容および手術・薬物療法等の治療記録。尚、取得した診療情報については二次利用する可能性があります。その際には、あらためて倫理審査委員会にて審査を受けます。
試料/医療情報の他の研究機関への提供方法	*他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	神奈川県大和市深見西 8-3-6 TEL:046-260-0111 FAX:046-260-3366 所属・職位：大和市立病院 産婦人科 担当者：横澤 智美
備考	